

# 災害時役割分担シートの開発について

八女消防本部（福岡県） 樋口 鉄平

## 1 はじめに

近年、全国的に社会的影響の大きい事業所及び施設等（以下「事業所」という。）での複雑多様化する災害が多発しており、消火活動及び人命救助に困難を極める事が危惧されている。さらに、大規模自然災害、多数傷病者が発生するような災害が増加傾向にある。

現在実施されている事業所での消防訓練を考察すると、訓練に対する「慣れ」が生じており、緊張感及び責任感が欠如し「形式的なその場だけの訓練」が多々見受けられるのが現状であり、この解決策を見出すのが喫緊の課題である。

そこで、この訓練を効果的に実施でき、万一の実災害に対しても即座に対応できるよう災害時役割分担シートを開発した。

## 2 現状把握

### (1) アンケート対象及び方法

当消防本部管内事業所 851 施設の内、無作為に抽出した 18 施設に勤務する者 142 名（男女）を対象とした。

調査は無記名によるアンケート方式で実施。アンケート用紙を作成後、各事業所へ消防訓練に出向した際に災害時役割分担シート導入前アンケートを記入してもらい、当消防本部職員により回収。その後、災害時役割分担シートの約 1 ヶ月間試用期間を経て、再度同一者へ導入後アンケートを記入してもらった。

(回収数 142 票、有効票数 142 票、有効回収率 100%)

尚、調査項目は下記のとおりとした。

- ア あなたの性別を教えてください。
- イ あなたの年齢を教えてください。
- ウ あなたの職務上の役職を教えてください。
- エ 今までの消防訓練（避難訓練等）で訓練に慣れてしまい、緊張感・

緊迫感がないと感じたことはありますか？

オ エで「はい」と答えられた方は、それはどのような事からですか？

カ あなたの勤務地に設置されている消防用設備等（消火器・自動火災報知設備・消防機関へ通報する火災報知設備・屋内消火栓設備等）の位置を把握していますか？

キ その消防用設備等の操作方法はわかりますか？

ク あなたの災害時の役割分担がわかりますか？

ケ 災害が発生した場合の、避難経路を想定していますか？

コ 日頃から災害時の行動に対してイメージを膨らませ具体的な自分の動きを考えていますか？

## (2) 災害時役割分担シート導入前アンケート結果

今回、当消防本部管内事業所に勤務する者142名に対して、消防防災に関するアンケートを実施した結果、70%以上の者が消防訓練（避難訓練等）に慣れてしまい、緊張感・緊迫感がないと感じている事がわかった。（図1-1）

その理由として、訓練中の私語や笑い声、いつもの訓練と思いながら適当な気持ちで訓練に望んでしまった等が多く挙げられた。その他には、火災による避難訓練であるのに、どこが火元なのかもわからず逃げている。実際の災害等は全く想定せずに、勤務先でやらなければならないからしていただけ。との意見もあった。

また、勤務地に設置されている消防用設備等（消火器・自動火災報知設備・消防機関へ通報する火災報知設備・屋内消火栓設備等）の位置を把握できていないと回答した者が41%、（図2-1）その消防用設備等の操作方法がわからないと回答した者が34%。（図3-1）さらに自分自身の災害時の役割がわからないと回答した者が31%との結果であった。（図4-1）

## 3 災害時役割分担シートとは

災害時役割分担シート（以下「役割シート」という。）とは、名刺サイズ（縦7.5cm×横10.0cm）のシートを首掛けにしたもので、表には各担当の役割分担、裏には自身の役割に応じた行動内容を簡潔に明記したも

のであり、災害時において自分自身の役割や他の者の役割が一目で認識でき、迅速・確実・的確な行動が可能となるツールである。(写真1～12)

#### 役割シート記載内容

##### (1) 責任者

- ア 全体の人員把握を行う。  
(人員確認表への記入)
- イ 消防隊への情報提供。

##### (2) 初期消火

- ア 水バケツ、消火器等を活用し初期消火を行う。  
(天井に燃え移ったら初期消火を中止し、避難する。)
- イ 避難誘導は大声で簡潔に行う。
- ウ パニック防止に努める。

##### (3) 通報連絡

- ア 非常ベル又は大声で火災の発生を知らせる。
- イ 119番通報を行う。
- ウ 消防隊への情報提供及び責任者への連絡を行う。
- エ 119番通報時に伝える内容の明記

##### (4) 避難誘導

- ア 避難口を開放し避難誘導にあたる。  
(避難経路図の活用)  
(エレベーターは使用しない)
- イ 避難誘導は大声で簡潔に行う。
- ウ パニック防止に努める。

##### (5) 応急救護

- ア 負傷者の応急処置を行う。
- イ 救急隊員との連携、情報提供を行う。
- ウ 負傷者の氏名、負傷の部位、程度を確認し記録する。

#### 4 考察

役割シート導入前アンケート結果により、現在の消防訓練では、大部分の者が緊張感・緊迫感が無いと感じているとの結果であり、現状の消防訓練のあり方では、実災害が発生した際の行動がわからず、多くの被

害が生じてしまう状況であると考えられる。

被害を最小限度に食い止めるためには事業所に勤務する者の意識改革、すなわち、防災に対する意識の高揚が必要不可欠である。

そのため、今回開発した役割シートが有効であると考えた。

## 5 事業所における役割シート導入検証

### (1) 消防訓練の実施

実際に管内事業所において、約1ヶ月間役割シートを導入し試行運用。

試行方法については、毎日の勤務開始時にその日の勤務責任者からそれぞれの役割担当者へ点呼時に直接手渡し、渡された担当者は自分の役割及び行動内容を読み上げる。その際、消防計画に定められているそれぞれの担当者が休みの場合には、代理の者を指名し、各役割担当者が必ず存在する状況で勤務に従事し、勤務時には常にこのシートを着用してもらうものとした。

導入期間終了後消防訓練を実施。導入前後の事業所に勤務する者の動きを比較してみると、それぞれの役割及び行動内容が明確化されているため、各人に責任感や行動内容に対する自信が生まれ、活動内容の充実、活動時間の短縮、勤務者同士の声の掛け合い等の改善が認められた。

また、消防訓練後に事業所勤務者に話を聞くと、訓練時に限らず、日々の勤務時においても避難経路の確認・確保、消防用設備等の設置位置、操作方法の確認等を各々が徹底して実施するようになったとの意見もあった。今までの「形式的なその場だけの訓練」から「実災害を想定した継続的な訓練」に変化したのである。

「訓練でできない事は現場ではできない。」と我々消防は常々指導され、日々の訓練を継続実施し最大限の準備を行い多種多様の災害に全消防力を注ぎ込み対応するが、まさにそのとおりである。「準備を怠れば失敗する。」

このことを念頭に置き、日々の勤務に従事することが求められる。

### (2) 消防訓練時の行動変化

#### ア 責任者

(ア) 確実に人員把握を実施していた。

(イ) 周囲への声かけが適切で的確であった。

イ 初期消火

(ア) 消火器等、消火設備の操作が迅速確実であった。

ウ 通報連絡

(ア) 恥ずかしがらずに大きな声で火災である旨を知らせていた。

(イ) 通報訓練時に聞かれた事に対し、落ち着いた的確に返答していた。

エ 避難誘導

(ア) 避難者に対し、大きな声で避難経路及び避難口へ誘導していた。

(イ) 避難者に対し、避難時の姿勢や私語を慎むよう指摘していた。

オ 応急救護

(ア) 負傷者に対して適切な応急処置を実施していた。

(3) 役割シート導入後、事業所での各役割担当の声

ア 責任者

(ア) 勤務開始時に事業所内の人員把握を徹底するようになった。

(イ) 消防訓練時に積極的に指示を出すようになった。

イ 初期消火

(ア) 消火器の設置位置の把握に努めるようになった。

(イ) 消火器等、消火設備の操作方法の習熟に努めるようになった。

(ウ) 火の取扱いに注意するようになった。

ウ 通報連絡

(ア) 非常ベルの位置やその他の消防用設備等の設置位置の把握に努めるようになった。

(イ) 119番通報時に伝える内容について勤務開始時に確認するようになった。

エ 避難誘導

(ア) 避難経路図を把握し、避難時の経路について毎日確認を徹底するようになった。

(イ) 避難口及び避難経路に物品等が置かれていた場合、直ぐに撤去し事業所全体の勤務者に対し、周知徹底するようになった。

(ウ) 消防訓練時の避難誘導の際には大きな声で誘導できるようになった。

オ 応急救護

(ア) 応急処置の方法、止血法や心肺蘇生法について積極的に学ぶよう

になった。

(イ) 消防訓練時に消防隊に応急処置でわからない事をたずねるようになった。

(ウ) 常に情報を記入できるようメモ帳を持ち歩くようになった。

(写真13、14、15、16)

## 6 消防訓練後のアンケート結果

役割シート導入前消防防災に関するアンケートに回答した者と同一者142名に導入後再度アンケートを実施した結果、前回70%以上の者が今までの消防訓練（避難訓練等）で訓練に慣れてしまい、緊張感・緊迫感がないと感じていると回答したのに対し、今回は47%であった。（図1-2）

また、勤務地に設置されている消防用設備等の位置を把握できていないと回答した者が前回41%であったのに対し今回は8%、（図2-2）その消防用設備等の操作方法がわからないと回答した者が34%であったのに対し24%、（図3-2）さらに自分自身の災害時の役割がわからないと回答した者が31%から10%という結果であった。（図4-2）

その他に、「災害が発生した場合の、避難経路を想定していますか？」との問いに対し導入前は86%が「想定している」と回答していたが導入後は97%、（図5-1、5-2）「日頃から災害時の行動に対してイメージを膨らませ具体的な自分の動きを考えていますか？」との問いについては、導入前42%が「考えている」と回答していたが、導入後は78%との結果であった。

（図6-1、6-2）

上述のとおり、役割シート導入前後のアンケート結果を比較してみると、全ての項目において導入後の回答のほうが有意と考えられる結果となった。

## 7 今後の課題

役割シート導入前後のアンケート結果から、導入前後において事業所に勤務する者の防災意識の変化、年間を通しての消防訓練の充実強化が期待できることが想像できた。

しかし、一定の成果は出たものの、モデルとなった一部の事業所のみ

結果であるため、今後導入事業所を増加させていくことが必要であるが、この過程において、多くの時間を要する事が考えられる。

さらに、役割シートを用いた消防訓練の成果が、実施した事業所の一部の者だけの知識や習慣となり、今後事業所内での意識が希薄化し、情報の共有がされなくなる事が考えられ、実災害時の連携不足等となりうる可能性も否定できない。

このようなことから、今後は役割シートの導入事業所を増やし、多くの事業所で認知してもらい、そこで勤務する者にも浸透させて着実に実災害に強い街づくりへと発展させることが最大の検討課題である。

## 8 結び

現在、当消防本部では役割シートの実効性の検証と、事業所に勤務する者に役立てる方策を検討するためこのシートの貸し出しを行っている。

役割シートは、有事の際に各担当者がどう行動するかを明確に記載している名刺サイズのシートであり、消防訓練等においても様々な形式で訓練を行うことが可能なツールである。

平成30年度は、多くの管内事業所が役割シートのモデル事業所となり試用期間を経て消防訓練を実施。役割シートの活用方法、活用場面について勤務者同士で意見交換を行い、今後の災害に備え取り組むべき事項についての話し合いを行っている。

災害発生時の行動内容を明確にまとめた、いわば個別の行動マニュアルともいえるべき役割シートの導入を、多くの事業所で取り組むことによって、具体的なイメージを各々が持ったうえで訓練を継続していくことが可能となる。そうすることにより、それぞれの判断力、行動力が更に向上し自信を持って災害に立ち向かうことができるようになると思う。また、長期目線では、役割シートが標準化されれば、ベテラン職員から新入職員まで災害への備えや災害時の行動のシミュレーションが容易で、理解が早くなり、防災に対する意識が高揚され、職員の災害対応能力の向上に繋がると考える。

消防法令等が度々改正され、事業所等におけるハード面である消防用設備等の設置義務化が強化されていく一方で、ソフト面の強化についてはどうだろうか。今回のアンケート結果が表しているようにいくらハード面を充実強化しても、それらを使用することができなければ意味が無い。それらを使

用する人間を強化することが今求められている。

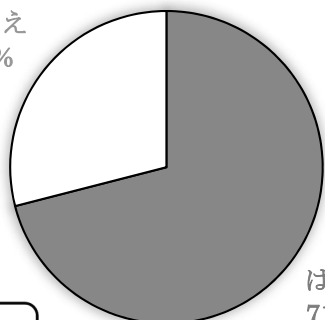
役割シートを導入することにより、消防計画に基づく消火、通報及び避難の訓練が適正に実施され、さらには災害時の役割体制の確立が期待できると考える。



問い1

今までの消防訓練（避難訓練等）で訓練に慣れてしまい、緊張感・緊迫感がないと感じた事  
はありますか？

いいえ  
29%



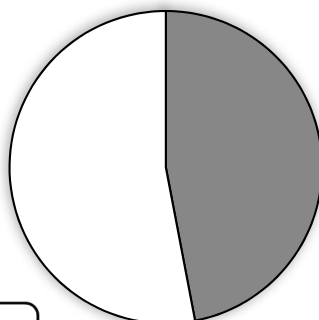
はい  
71%

導入前

図1-1



いいえ  
53%



はい  
47%

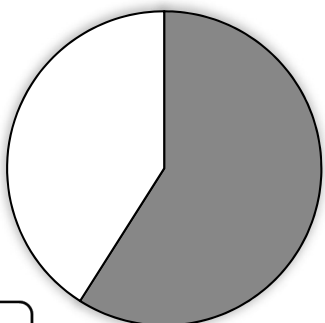
導入後

図1-2

問い2

あなたの勤務地に設置されている消防用設備等（消火器・自動火災報知設備・消防機関へ通  
報する火災報知設備・屋内消火栓等）の位置を把握していますか？

いいえ  
41%



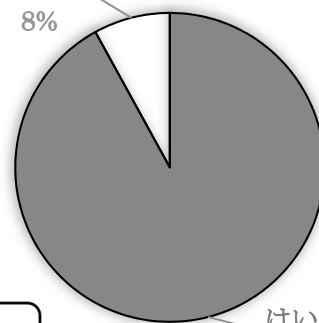
はい  
59%

導入前

図2-1



いいえ  
8%



はい  
92%

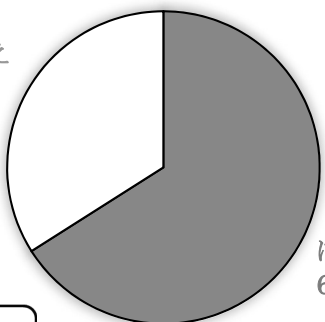
導入後

図2-2

問い3

勤務地に設置されている消防用設備等の操作方法がわかりますか？

いいえ  
34%



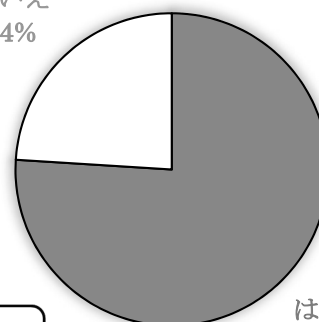
はい  
66%

導入前

図3-1



いいえ  
24%



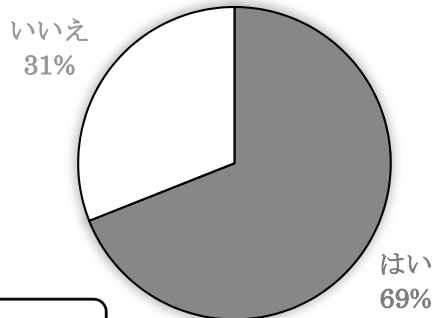
はい  
76%

導入後

図3-2

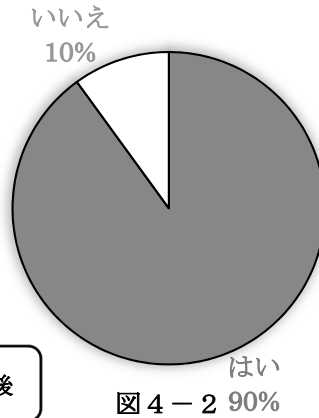
問い4

あなたの災害時の役割分担がわかりますか？



導入前

図4-1

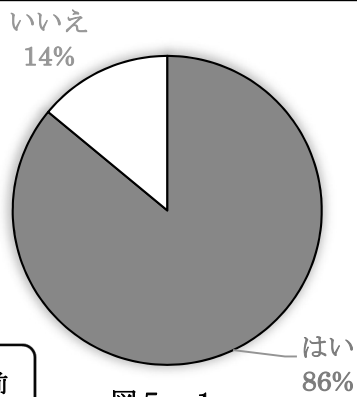


導入後

図4-2

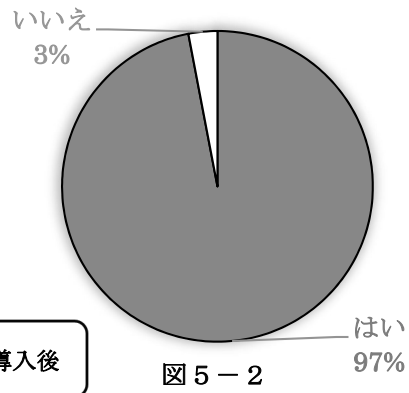
問い5

災害が発生した場合の避難経路を想定していますか？



導入前

図5-1

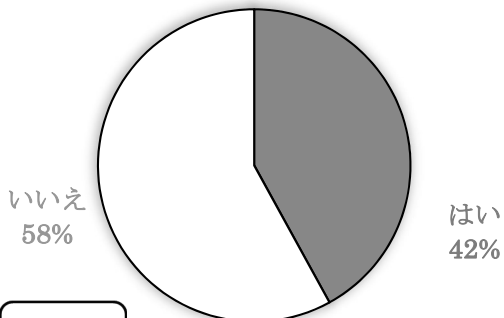


導入後

図5-2

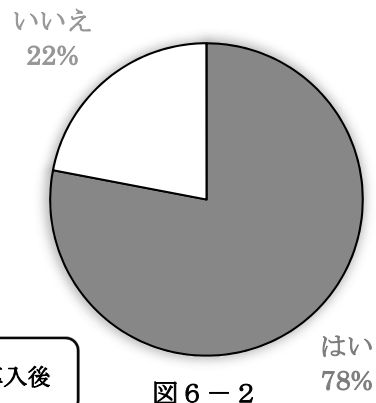
問い6

日頃から災害時の行動に対してイメージを膨らませ具体的な自分の動きを考えていますか？



導入前

図6-1



導入後

図6-2



写真 1

災害時役割分担シート表面  
役割を記載



写真 2

災害時役割分担シート裏面  
各役割に応じた行動内容を記載



写真 3

表面拡大



写真 4

裏面拡大



写真 5

表面拡大

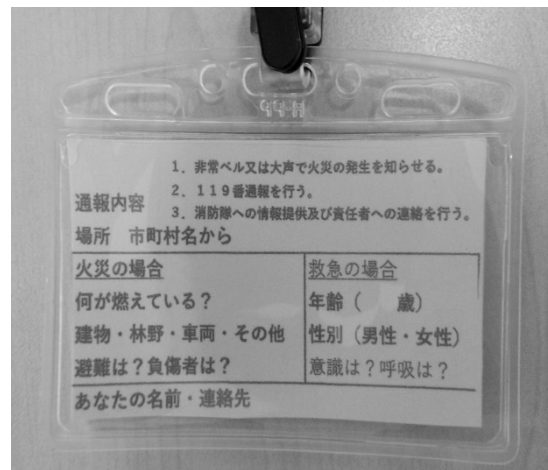


写真 6

裏面拡大



写真 7

表面拡大

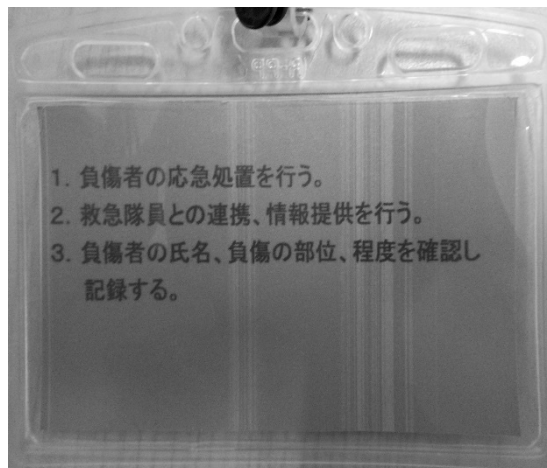


写真 8

裏面拡大



写真 9

表面拡大

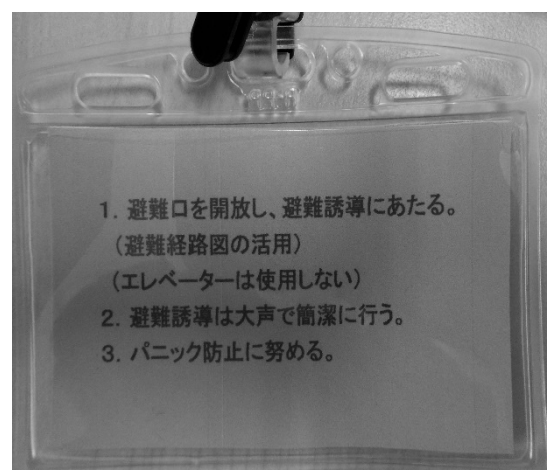


写真 10

裏面拡大



写真 11

表面拡大

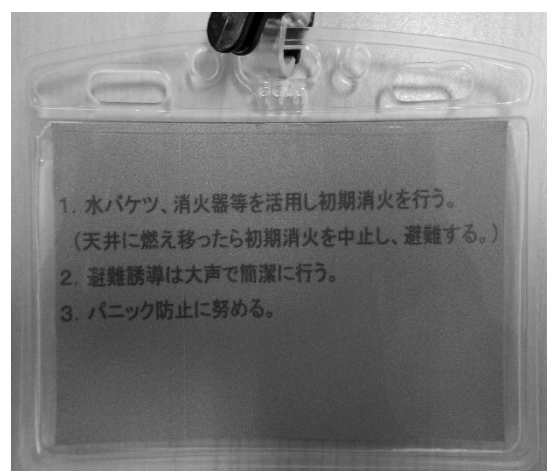


写真 12

裏面拡大



写真 1 3

責任者より勤務開始時に交付



写真 1 4

消防用設備等の点検



写真 1 5

避難誘導訓練の様子



写真 1 6